

多摩川衛生組合 事故等への対応

	事故発生日	発生場所	事故内容	対応・処理・結果
1	平成24年 3月6日	ごみ焼却炉 2号炉	2号炉スローカ駆動装置のポンプの吐出圧力が出ていないのを確認。3月6日の16時にメーカーが来場、原因調査に来た。	調査の結果、2号炉スローカ駆動装置内の2台のポンプ流量調節弁の故障によるものと判明。2号炉停止後にポンプ1台は仮復旧、1台は予備品と交換した後、3月7日5時より再立ち上げ。
2	平成24年 3月9日	汚水処理室	塩酸貯槽エリア漏えい検知器が発報し、安全装置である散水装置が作動。現場確認の結果、塩酸がわずかに漏れていることを確認。結果として腐食は無くダイヤフラム締め付けボルト2本が緩んでいた。	ダイヤフラムの締め付けボルトの緩みが原因と推定できるが、何故緩んだかは不明。委託業者に点検の徹底を指示。
3	平成24年 3月23日	ごみピット3 番ゲート奥	午前11時56分頃、ごみクレーン操作室のごみピット炎検知器が発報。	火災発生の一斉放送をし、放水銃による消火を行い、12時16分鎮火した。ごみ搬入車両に影響はなし。原因は特定できなかった。
4	平成24年 4月27日	ごみピット7 番ゲート奥	午前10時14分頃、ごみクレーン操作室のごみピット炎検知器が発報。	火災発生の一斉放送をし、放水銃による消火を行い、10時32分鎮火した。ごみ搬入車両は空いているホッパーに順次投入。原因は特定できなかった。
5	平成24年 6月5日 ～6月11日	不燃ごみ手 選別ライン	6月5日に不燃ごみの中にボーリングの玉が混入していた。11日には多量のスプレー缶が混入していた。	構成市に連絡し、処理困難物の引き取り収集業者への注意並びに市民に対する分別徹底の呼びかけを依頼。
6	平成24年 7月20日、 7月23日	汚水処理室	7月20日出口弁フランジの締め付けボルトから塩酸がわずかに漏れているのを確認。7月23日には入口弁のフランジの締め付けボルトから塩酸がわずかに漏れているのを確認。	ダイヤフラムの締め付けボルトの緩みが原因と推定できるが、何故緩んだかは不明。委託業者に点検の徹底を指示。委託業者に再度、点検強化を指示。
7	平成24年 8月6日	ごみピット6 番ゲート奥	9時56分頃、粗大・不燃ごみ中央制御室監視モニターにて目視で炎を確認。	火災発生の一斉放送をし、放水銃による消火を行い、10時30分鎮火した。ホッパステージにて発火部を調査。破碎可燃ごみからの発火物と推定される。稲城市・狛江市に市民への啓発強化を依頼。
8	平成24年 8月17日	東京電力 送電線	19時18分東京電力送電線への落雷により、組合の送電線が停止。19時41分、東京電力復帰するも、20時00分蒸気タービン入口蒸気圧低下のためタービン停止。運転中の2号炉、3号炉停止。	8月18日、午前4時、焼却量120t/日の自動運転に復帰。15時41分蒸気タービン立ち上げ完了復帰。
9	平成24年 8月17日	粗大ごみ受 入ホッパ	午前10時38分頃、粗大ごみ受入ホッパの作業員が目視で炎を確認。	火災発生の一斉放送をし、放水銃による消火を行い、10時51分鎮火した。10時47分まで可燃ごみの受入れを停止。原因は特定できなかった。
10	平成25年 1月8日	西側搬入路	委託業者が溶融スラグの積替え作業中に重機がバランスを崩して横転した。運転手は軽い打撲であったが、フェンス及び街灯が一部破損した。施設への搬入及び運転には影響は出なかった。	当日、午後4時にラフター車を運転委託にて手配し、重機の復旧を行った。また、損傷したフェンス及び街灯は運転委託が保険にて後日対応した。